

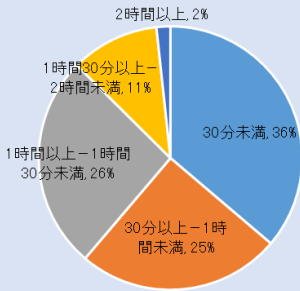
学生調査で見る福工大生 学生生活の充実度・授業の質への満足度・入学後の能力の変化

～2022年度大学IRコンソーシアム「一年生調査・上級生調査」集計結果～

※本学は3年生で実施

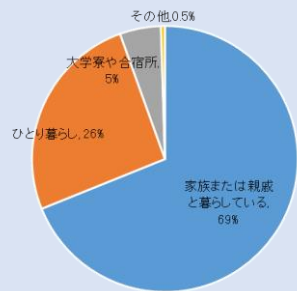
Q: 片道の通学時間は

「30分未満」が36%
「1時間30分以上」は1割強



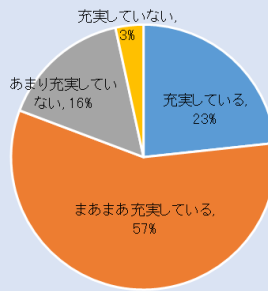
Q: 現在の居住形態は

「家族または親戚との同居」が69%



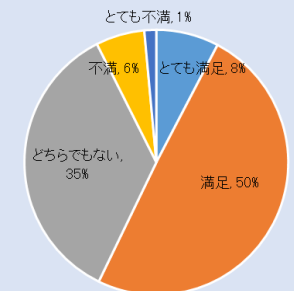
Q: 学生生活の充実度は

「充実・まあまあ充実」が80%
(1年生82%、3年生79%、調査参加全大学の1年生・上級生平均80%)



Q: 授業の全体的な質への満足度は

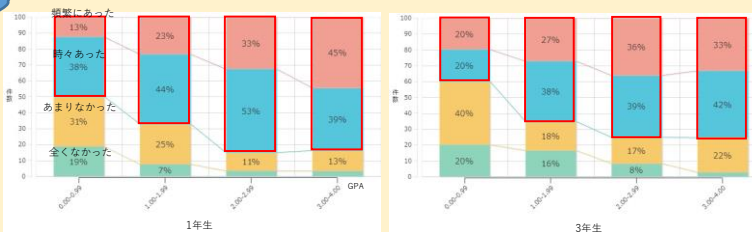
「とても満足・満足」が58%
(1年生57%、3年生56%、調査参加全大学の1年生・上級生平均55%)



※いずれも1年生と3年生の回答を合算した集計値。 回答件数(回答率): 1年生482件(46.3%)、3年生338件(34.6%)

クロス集計

Q: 累積評価値(GPA) × Q: 学習態度:「授業時間外に、他の学生と一緒に勉強、授業内容を話した」(4件法)



GPAと授業時間外に他の学生と一緒に勉強などをした頻度との関係について調べたところ、1年生・3年生ともに、他の学生と一緒に勉強をした頻度が多いほど、GPAが高い傾向にあることが確認できました。また、同様にクロス集計により、他の学生と話す機会への満足度が高いほど、学生生活の充実度が高い傾向にあることが確認できました。

他の学生と話す機会への満足度については、コロナ禍での遠隔授業実施などの影響を強く受けた2020年度において、特に1年生で「とても満足」「満足」の回答割合が計24%と大きく落ち込みましたが、2022年度調査では65%(調査参加全大学の1年生平均62.6%)とほぼコロナ禍前の水準まで回復しています。

Q: 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。(5件法)

質問番号	質問内容	2020年度1年生	2022年度3年生	差分
Q7A	一般的な教養	3.81	3.96	0.16
Q7B	分析力や問題解決能力	3.75	4.01	0.26
Q7C	専門分野や学科の知識	4.08	4.27	0.19
Q7D	批判的に考える能力	3.55	3.69	0.13
Q7E	異文化の人々に関する知識	3.47	3.70	0.23
Q7F	リーダーシップの能力	3.19	3.44	0.26
Q7G	人間関係を構築する能力	3.32	3.64	0.32
Q7H	他の人と協力して物事を遂行する能力	3.39	3.82	0.44
Q7I	異文化の人々と協力する能力	3.10	3.33	0.23
Q7J	地域社会が直面する問題を理解する能力	3.39	3.54	0.16
Q7K	国民が直面する問題を理解する能力	3.47	3.52	0.05
Q7L	文章表現の能力	3.76	3.73	-0.03
Q7M	外国語の運用能力	3.22	3.22	0.01
Q7N	コミュニケーションの能力	3.35	3.72	0.37
Q7O	プレゼンテーションの能力	3.32	3.70	0.37
Q7P	数理的な能力	3.60	3.79	0.19
Q7Q	コンピュータの操作能力	4.27	4.25	-0.01
Q7R	時間を効果的に利用する能力	3.56	3.78	0.22
Q7S	グローバルな問題の理解	3.42	3.52	0.10
Q7T	卒業後に就職するための準備の度合い	3.38	3.88	0.50
	総合計	3.52	3.73	0.21

ここでは、2020年度調査の1年生の回答結果と、2022年度調査の3年生の回答結果を比較することで、2020年度入学生への入学後の能力・知識の変化について調べました。「差分」欄の数値は2年間の伸長を表しています。

特に「他の人と協力して物事を遂行する能力」、「コミュニケーションの能力」、「プレゼンテーションの能力」、「人間関係を構築する能力」が大きく伸びていることが確認できます。

一方で、「文章表現の能力」と「コンピュータの操作能力」では伸長が見られません。本学では学習支援センター(E棟3階)にスタッフが常駐し、先輩LA(ラーニングアシスタント)とともに大学の専門的な学習の前提となる基礎知識を中心にサポートを行っていますので、学生の皆さんはひとりでも、友人とでも、気軽にご利用ください。



Q: あなたは、本学の設備や学生支援制度にどの程度満足していますか。(5件法)

質問番号	質問内容	調査参加全大学上級生	本学3年生	差分
Q13A	図書館の設備(蔵書やレファレンスサービス)	3.74	3.88	0.14
Q13B	実験室の設備や器具	3.53	3.69	0.16
Q13C	コンピュータの施設や設備	3.61	3.98	0.37
Q13D	コンピュータの訓練や援助	3.49	3.71	0.22
Q13E	インターネットの使いやすさ	3.37	3.70	0.33
Q13F	奨学金など学費援助の制度	3.33	3.40	0.07
Q13G	健康・保健サービス(心身の健康に関わる問題についての診療や相談)	3.42	3.47	0.05
Q13H	レクリエーション施設(ジムの設備など)	3.19	3.29	0.11
Q13I	キャリアカウンセリング(就職や進学に関する相談)	3.43	3.61	0.18
	総合計	3.46	3.64	0.18

ここでは、設備や学生支援制度への満足度について、調査参加全大学の1年生と本学上級生(3年生)の回答結果を比較しました。本学学生は比較的設備や学生支援制度への満足度が高く、特に「コンピュータの施設や設備」、「インターネットの使いやすさ」への満足度の高さが目立ちます。

【「一年生調査・上級生調査」について】 大学IRコンソーシアム「一年生調査・上級生調査」集計結果はこちらをご覧ください

本学が加盟している大学IRコンソーシアムが企画する学生調査(一年生調査・上級生調査)を実施しています。授業経験、学習行動、受講態度、正課内外の活動時間、知識・能力の獲得状況、英語運用能力のレベル、大学生生活、高等教育に対する満足感、将来イメージ等を調査するもので、全国の大学が共同で調査を実施し、調査結果から得られた各大学の教育の特徴を大学間で相互に評価し合い、教育の質を客観的に保証するとともに、さらなる教育改善の方策を見出すことを目的としています。(本学では上級生調査は3年生を対象に実施。)本Reportに掲載しなかった設問の回答状況は福岡工業大学教育開発推進機構オリジナルサイト「情報の取組み」>「教育IR」>「主な実施調査・アンケート」>「学生調査」に掲載しています。

- 調査期間: 2022年9月22日～10月31日
- 調査対象者: 1年生(1,041名)および3年生(977名)
- 実施方法: FIT MoodleによるWeb調査
- 回答件数(回答率): 1年生482件(46.3%)、3年生338件(34.6%)
- (参考)2022年度調査参加大学数: 61大学、回答件数: 1年生37,448件、3年生46,875件

【お問い合わせ】

福岡工業大学教育開発推進室 Mail:e-kaihatsu@fit.ac.jp TEL:092-606-7370

